



平成 22 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 東 洋 鋼 鉄 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 田 中 厚 夫
 (コード番号 5453 東証一部・大証一部)
 問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 総 務 部 長 大 谷 憲 史
 (TEL 03-5211-6200)

支配株主等に関する事項について

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）またはその他の関係会社の商号等

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

名 称	属 性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている 金融証券取引所等
		直接 所有分	合算 対象分	計	
東洋製罐 株式会社	親会社				株式会社東京証券取引所 市場第一部 株式会社大阪証券取引所 市場第一部
		47.6	—	47.6	

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

東洋製罐(株)は、当社株式の議決権比率 47.6%を所有する親会社であり、当社は、親会社の企業グループの中で鋼板関連事業およびその他の事業を行なっています。

当社と東洋製罐(株)との関係は、営業の主要取引先であるとともに、当社は資金の借入を行っています。東洋製罐(株)の取締役 1 名、監査役 1 名が当社の社外取締役、社外監査役として就任し、また、当社の取締役 1 名が東洋製罐(株)の取締役として就任しています。

当社は東洋製罐グループ全体の発展に寄与すべく企業活動を推進しています。また、社外取締役および社外監査役の意見も踏まえ、十分に議論をしたうえで取締役会における業務執行の意思決定を行っており、事業運営の独立性は確保されているものと考えています。

(役員)の兼務状況)

役 職	氏 名	親会社等での役職	就 任 理 由
代表取締役 社 長	田中 厚夫	親会社 東洋製罐株式会社 取締役	東洋製罐グループ全体の経営および連携の強化、またグループ会社間における業務の効率性、健全性および透明性の確保を図るため
社外取締役	三木 啓史	親会社 東洋製罐株式会社 代表取締役会長	経営に関する幅広い知識や経験が、当社の経営の効率性、健全性および透明性の確保、向上につながり、経営体制を強化できるものと判断したため
社外監査役	大川 邦夫	親会社 東洋製罐株式会社 常勤監査役	長年東洋製罐株式会社の経理業務を担当しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有するため

3. 支配株主等との取引に関する事項

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

属性	会社等の名称	住所	資本金 (百万円)	事業の内容	議決権等の被所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員 の兼任等	事業上 の関係				
親会社	東洋製罐株式会社	東京都千代田区	11,094	空缶・容器等の製造販売	直接 47.6%	兼任 3人	当社製品の販売	製品の販売	34,274	売掛金	6,188
								資金の借入	3,000	短期借入金	3,000

取引条件および取引条件の決定方針等

- (1) 製品の販売については、市場価格、総原価を勘案して当社希望価格を提示し、交渉の上、当社との関係を有しない他の取引先と同様の条件としています。
- (2) 資金の借入については、借入利率は市場金利を勘案して合理的に決定しています。

※注 取引金額には消費税等を含んでおりません。

4. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

親会社との関係について、当社は事業運営および取引面において独自性をもって運営しています。

具体的には、製品販売は市場価格、総原価を勘案して当社希望価格を提示し、交渉の上、当社との関係を有しない他の取引先と同様の条件とし、資金の借入れについては、借入利率は市場金利を勘案して合理的に決定しています。また、当社社外監査役の宮本光晴氏は一般株主と利益相反が生じる恐れがなく、高い独立性を有していると判断し、独立役員に指定し届け出ており、経営の監視がなされています。

そのため親会社との取引が、当社ひいては少数株主の権利を害することはないと判断しています。

以上